



鞆の浦学園だより

No.16

2026年(令和8年)1月7日



新年あけましておめでとうございます。

～3学期、そして次年度の0学期が始まります～

冬休みが明け、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。子ども達も午年(うまどし)らしく元気いっぱい楽しそうに登校しました。

馬は「前へ進む力」の象徴と言われています。今年も子どもたちが、それぞれのペースでしっかり前に進んでいけるよう、学校全体で温かく見守ってきたいと思います。

私たちが大切にしている「いのち、輝く！No Child Left Behind」～一人一人が自分らしく、すべての場面でいのちを輝かせる児童生徒&教職員～を目指します。

子どもによって得意なことも、つまずくところも、ワクワクする瞬間も違います。子どもたちにもそれぞれのリズムがあります。そのリズムを大切にしながら、時には背中をそっと押し、時には手綱をゆるめ、安心して挑戦できる環境をつくっていきます。午年らしく明るくエネルギーで前に向かって進む年にしてほしいと願っています。

冬休みの間に、子どもたちは家庭で愛情いっぱい、ゆっくり過ごし、また一段と成長した姿を見せています。新しい年が、子どもたちにとって挑戦と発見にあふれた一年となるよう、教職員一同で力を合わせて取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今朝の始業式で、人が失敗したり間違ったりしても馬鹿にしない人に育ててほしいこと、前に向かって一步一步踏み出して挑戦してほしいこと、気持ちの切り替えをして学びに向かってほしいことを伝えました。学園の原点を大切にしながら、今年もさらに豊かな教育を目指し取組を進めます。



安全を守る贈り物



2学期の最終日、子どもたちに反射タオルホルダーを配付しました。これは、学園に給食の食材を納品してくださっている武之内商店の武内さんが、子どもたちの安全を願い、寄付していただいたものです。

武内さんは、夕方に車を運転する中で歩行者が見えにくいと感じた経験から、「少しでも子どもたちの安全につながれば」との願いと、子どもたち自身も自分の身を守る意識を高めてほしいとの思いから児童生徒一人一人にご用意くださいました。

この温かいご厚意に対し、学園会から感謝状をお渡ししました。

地域の皆様に支えられていることを改めて実感する機会となりました。心より感謝申し上げます。

現在子どもたちは武内さんの思いを受けて、ランドセルやカバンに反射タオルホルダーを付け、安全に気をつけながら登校しています。



黒板に込めた温かい気持ち

3学期始業式の朝、教室の黒板には先生たちからメッセージや子どもたちが描いた新年の決意が描かれていました。子どもたちを温かく迎え、新学期のよいスタートとなりました。

